



致知啟蒙第二卷

駿河

西周著

勝保氏回藏書

第十三章 命題諸式

是ヨリ下ハ、致知學ノ業前ニ、涉タル所ニシテ、所
 謂術ノ部ナリ、前章ノ論ラヒニテ、誰ニモ、明カニ
 知ラルヘシ、致知學ノ疆域ノ内ニテハ、局外中立
 ノ權ヲ許スコトナキヲ、又知ラルヘシ、此分拆法
 ヲ用ヒナハ、黄金ト銀トノ相混ハレルニ、硝酸ヲ
 灌キテ、銀ハ硝酸銀ト化シ、黄金ノ殘レルヲ、サ

致知啟蒙

卷二

一

第十三章

命題諸式

ヲハ、致知學ニテハ、今解ト、総合トノ二法ニ從ヒ、
 前ノ單元ノニツノ内、何レニテモ、理性ノマニマ
 ニ、莫逆嘉納ヲ受ルニ、至ラスレテハ、得モ止マサ
 ルナリ、爰ニ又配偶無ニ〔*exclusionis*〕ノ法ト云フ
 アリ、命題ノ主位ニ配合スヘキ、屬位ノ言ハ、苟モ
 是ヲ一ツ得タラハ、是即チニツトナキ同一ニテ、
 真トノ配偶タレハ、佗シ千萬ツハ、此配偶ニアラ
 スト、知ルナリ、今「セハスナリテフ同一アラハ、イ
 モ、ロモ、ハモ、佗シ四十餘リニツノ文字ハ、是カ妻
 ナラスト、知ルヘシ、サテ、カクシテ、命題ヲ得タル

時、再ヒ度量觀ト、形質觀トニ、還ルコトアリ、形質
 觀ニテ、肯定ヲ表題〔*affirmative proposition*〕ト云ヒ、
 否定ヲ裏題〔*negative proposition*〕トイフ、又度量觀
 ニテ、アラユルノ標シヲ主位ニ加ヘタルヲ、全称
 ノ極〔*universal term*〕ト名ケ、アルテフ標シヲ、加
 ヘタルヲ、特称ノ極〔*particular term*〕ト名ク、ニツ
 ノ者相待チテ、四ツトナル、今煩シキヲ、省クカ為
 ニ、各標シニテ示ス、ソハ○ハ全称トシ、□ハ特称
 トス、又||ヲ肯定トシ、|ヲ否定トス、其式左ノ如
 シ

致知啓蒙

卷二

二

十 扉 合

甲 全称ノ表題 乙 特称ノ表題
 丙 全称ノ裏題 丁 特称ノ裏題
 サルニ、今唯數ノミヲ、目的ニ取リテ、相乘シタラ
 ハ、尚四ツヲ得、共ニハツトナルヘシ

- 第一 甲 ○イ||□□
- 第二 乙 □イ||□□
- 第三 亞甲 ○イ||□□
- 第四 亞乙 □イ||□□
- 第五 丙 ○イ|□□
- 第六 丁 □イ|□□

第七 半丙 ○イ|□□
 第八 半丁 ○イ|□□
 サテ、前ノ如ク、唯主位ニ、全特ノ標シテ、加ヘタル
 ハ、正シキ例レナレト、属位ニ、其標シテ、加フルハ、
 先哲モ、其說區々ナルヲ、コハ唯考ヘテ、定ムル為
 ノミニテ、命題ニハ、シカスルニ非ス、サレト、爰マ
 テ其考ヘ至ラスシテハ、命題モ、精シク定カナラ
 スト、心得ヘシ、又此八式ノ中ニ就テモ、種々ノ說
 アリテ、唯甲乙丙丁ノミヲ、取ルト、其外ヲモ取ル
 ト、別チアレト、唯半丙半丁ノミハ、何レモ取ル

者ナレト、云ヘリ、コハ、カ、ル式ニ協ヘル題ノ、曾
 テヨリ、有ラサリツレハナリ、又甲乙ノ二式ハ、表
 題ニテ、イト屢用ヒニ、供フル者ニテ、主位ヲ、属位
 ノ内ニ納レテ、其類ヒニ、閉コムル者カラ、之ヲ齒
 類ノ式。[Formula of inclusion]ト名ケ、表題ノ正シ
 キ例レトス、又亞甲亞乙ノ式ハ、表題ニ用フルコ
 ト、イト稀ナリトハ、雖、^レ絶^レテナシトハ、言難レ、是
 ヲハ、立類ノ式。[Formula of condition]ト名ケ、主位
 ノ者ニテ、属位ノ部類ヲ、造リ立ル。テフ考ヘナリ、
 譬ヘハ、人ハ皆道理ヲ知ル者ナリト云ヘハ、人ヲ

集ノテ、道理ヲ知ル者人、一類ヲ立ルト、考フルナ
 リ、又丙丁ノ二式ハ、不齒類ノ式。[Formula of ex-
 clusion]ト名ケ、主位ノ者ヲ、属位ヨリ、ハ子除キ
 タル考ヘニテ、用フル所ニヨリ、言ヲ反シテ、云フ
 モノカラ、イトカアル裏題ナリ、譬ヘハ「道理ヲ曉
 ラヌ者ハ皆人ニ非ルナリ」ナトノ如ク、道理ヲ曉
 ラヌ者ヲハ子出シ、戸ヲ閉チテ、人ノ類ヒニ、齒イ
 セスト、考フルナリ、サレハ、齒類不齒類、立類ノ三
 ツヲ、命題ノ三式ト名ケ、各、度量觀ノニ、通リニ乘
 レテ六式トナシ、以テ辨證ノ考ヘヲコソナハ、何

及口

卷三

四

十

第

レ、ハタ如何ナル議題カハ、此六ツニ、約マラサル
コトノ、アルヘキ、尚約ノ法^{カタ}ノコトニ就テ、種々論
ラフヘキコトアレト、ソハ、口授ナラテハ、悉スヘ
クモアラス、精レキコトハ、本ツ文ニ譲リテ、是ヨ
リ先、演題ノ論ラヒニ、カ、リナム

第十四章 對偶互證

前ニ論ラヒタル如ク、トアル主位ヨリ、アル属性
ヲ、抜キ出テ、直チニ考ヘテ引キ示スヲ、主位ヲ
命證「predicate」スルト云フ、カクノ如クシテ、得
タル題ヲ、ニツヨリ多ク聚メ、上、ノ考ヘヨリ、次、ハ

考ヘテ、引キ明カスヲ引證「inference」ト云フ、サ
ルニ、此引證ヲ、又分チテ、ニツトナシ、唯單ヘニ引
證トイヘト、今以テ演題ト別ツ為ニ、姑ク之ヲ互
證ト云ヒ、佗レ一ツハ即チ演題「sylogism」ナリ
トス、演題ハ、トアル考ヘテ直チニ、引キ明カサス
シテ、中間^{ナホラ}ニ媒チヲ置キ、是ニ據テ、引證スルモノ
ナリ、故ニ其題三ツトス、互證ハ、媒チヲ取ラス、是
ヲ以テ、彼ヲ引證スルモノナリ、故ニ其題ニツナ
リ、コハ本、命題ヨリ、演題ニ移ル道ニテ、之ヲ以テ
トアル真トテ、頭ハ手段^{テダテ}トスルヨリモ、題ト題

トノ、係ハリアヲ理リテ、辨マフル為ニ、便リアリ
 トス、サテ、互證ニテハ、前ナル題ヲ、前唱〔*antecedent*〕
 〔ト名ケ、次ナル題ヲ、後和〔*consequences*〕ト名ケ、
 此後和ニテ、前唱ノ真トニ、恊ヘリヤ、否ヤヲ、引證
 スル者ナリ、其法三ツアリ、一ツニハ、對偶法〔*con-*
trajosition〕コハ前唱ノ題ト、表裏ニナリテ相並
 ビタル題ヲ設ケテ、其恊ヘリヤ、否ヤヲ、見ルナリ、
 ニツニハ、反對法〔*opposition*〕コハ前唱ノ題ト、
 相背カハリタル題ヲ設ケテ、見ルナリ、三ツニハ、
 轉換法〔*conversion*〕コハ主位ト、属位トヲ、置換

ヘテ、見ルナリ、サテ、對偶法ニテ前唱ヲ偶主〔*con-*
tyment〕ト名ケ、他シ題ヲ、動カス者トシ、又後和
 ヲ、偶客〔*conterposita*〕ト名ケ、動カサル、者ナ
 リトス、前唱表題ナラハ、裏ノ後和、裏題ナラハ、表
 ノ後和ニテ、度量ノ平称タル者ヲ、並ヘ下シ、マツ
 後和ノ属位ヲ、前唱ノ属位ト、全ク表裏ナル極ニ
 易ヘ、ソレヨリ莫逆嘉納ノ法ニカケテ、前唱ト較
 ヘナハ、必ス定言ヲ、易ヘスシテハ、ナラヌコトト
 ナルナリ、サレハ、表題ハ裏題ト換ハリ、甲ノ〇イ
 〇イハ、丙ノ〇イ〇イ〇イナラヌ者トナリ、譬ヘ

ハ、アラユル獸ハ生物ナリテフハ、アラユル獸ハ
死物ニ非ルナリト云フカ如ク、又裏題ハ、表題ト
換ハリ丁ノ、〇イー〇ロハ、乙ノ、〇イリ〇ロナラ
ヌ者トナリ、譬ヘハ、或人ハ賢人ニ非ルナリテフ
ハ、或人ハ不賢人ナリト易ルヘシ、此法ハ、唯甲ト
丙ト、及ヒ乙ト丁ト一ノミ、施スヘシ

第十五章 反對互證

反對法ハ、又合テテ、五ツトナス、ソハ、本来反對
position proper 反言對 *opposition contrarie*
logy 實反對 *opposition contrary* 小反對 *oppo*

osition decontrary 差等 *subalternation* ナリ、本来

反對テフハ、名ニテ既ニ知ラル、如ク前唱ノ真
トヲ後和ニテ、助ケ頭ハス者ニハアラテ、前唱ヲ
破ラムト、立タル者ナリ、サレハ、前唱ノ真トナル
ハ、後和ノ偽リ、後和ノ真トナルハ、前唱ノ偽リナ
ルコト、三ツメノ單元ニテ著シ、譬ヘハ、〇イリ〇
ロテフヲ、真トナリトセハ、〇イー〇ロテフハ、偽
リナルコト著カリ、譬ヘハ、人ハ皆死スヘキ者ナ
リト言フヲ、人ハ皆死スヘキ者ニ非ルナリト云
フカ如シ、コハ唯甲ト丙トノ間タニ在テ、度量同

シク、形質異ニシテ、ニツノ中、何レカ真トナルヘ
 シ、反言對ハ、甲ト丁ト、又乙ト丙トノ間タニ在テ、
 度量モ、形質モ、共ニ異ナル者ナリ、コモ亦前唱ト
 後和トノ中、何レカ、真トニ出ツヘクシテ、共ニ真
 ト、共ニ偽リナルコトナシ、唯本来反對ハ、共ニ全
 称ナレハ、言ハ、交^カミニ、拒^カキルコトヲ得テ譬ヘ
 ハ、教門ハ皆善ニ導ク者ナリテ、フ本来反對ニ
 テ、教門ハ皆善ニ導ク者ニ非ルナリト言ハ、其
 真偽邊カニ、辨ヘ難キヲ、反言對ハ、全特相交ハレ
 ハ、其真偽イト頭レ易シ、今○イロコヲ○イロ

トセハ、真偽自ラ明カニテ、譬ヘハ、教門ハ皆善ニ
 導ク者ナリテ、フ或教門ハ善ニ導ク者ニ非ル
 ナリト言ハ、前題ノ皆テフ字、肯シヌ可ラサル
 カ如シ、アルハ、本来反對ヲモ、反言對ト名ケ、別ニ
 差ノヲ立^テサルモアリ、此ニツハ、唯アリテフヲ、ナ
 シト、覆ヘシ言ヒテ、其主位ニ、此屬性ノ缺ケタル
 ヲ、示シタル耳ニテ、表裏ノ違ヒナルヲ、實反對ハ、
 此屬位ニ、相及セル實ヲ當^テタリ、コハ甲ト甲ト、丙
 ト丙ト、乙ト乙ト、丁ト丁トノ間タニ在テ、度量形
 質、共ニ同シケレバ、屬位ニ他レ極ヲ充テ、○イロ

致矢啓蒙 卷二 七

〇ロテフニ、〇イロハテフニ同シク、譬へハ、義
 ニ喩ル者ハ君子ナリテフヲ、義ニ喩ル者ハ小人
 ナリト云フカ如シ、サルカラニ、コハ両ツナカラ
 真トナルコトハ、ナレト雖凡両ナカラ、偽リナル
 コトアリ、前唱真トナラハ、後和偽リナリト雖凡
 前唱偽リナリトテ、後和必ス真トトハ、言ヒ難シ、
 譬へハ、〇イロハテフニ、〇イロハテフニ、
 ホナト、數へ悉ス、ハ、モアラテ、其内ニ、一ツノ真
 アレハナリ、故ニ両ナカラ、偽リニ出ルコトアル
 へシ、小反對ハ、本来反對ト度量ノ違ヒニテ、コモ

亦度量同シク、形質異ナル者ニテ、乙ト丁トノ間
 タニ在リトス、コハ其一ツ真トニシテ、佗シ偽リ
 ナルコトアルカ上、ニ、両ナカラ、真トナルコトア
 リテ、両ツナカラ、偽リナルトナレ、譬へハ、〇イロ
 〇ロ、〇イロ、〇ロト言ハ、イノ属性ヲ鈎引シ、一
 ツハ、ロノ類ニ入レ、一ツハ、ロノ類ヨリ省クコト
 ニテ、或人ハ賢人ナリ、或人ハ賢人ニ非ルナリナ
 トノ如ク、両ツナカラ、真ナルコトヲ、得ヘケレハ
 ナリ、差等ハ甲ト乙ト、丙ト丁トノ間タニ、在テ、全
 称ヲ差主。[subalternant]トイヒ、特称[subalternans]

文和女家
 卷三
 九
 十
 集
 八
 号

ト名ケ、形質同ウシテ、度量異ナル者ヲ云フナ
 リ、コハ全称ノ中ニ、特称ヲ兼ルコトハ、得ヘシト
 雖、特称ノ中ニ、全称ヲ含ムコトハ、得ヘカラサ
 ルカ故ニ、差主ヨリ、差客ヘ移リテ、前唱真トナラ
 ハ、後和モ真トナルヘシ、然レモ、差主ノ前唱、偽リ
 ナリトテ、差客ノ後和、必ス偽リナリトハ、謂フヘ
 カラスシテ、真ナルコトアリ、譬ヘハ、人ハ皆聾啞
 ナリハ肯スヘカラストモ、或人ハ聾啞ナリト言
 ハ、真トナルカ如シ、又差客ヨリ、差主ヘ移リテ、
 前唱真トナリトテ、後和必ス真トナリト、謂フ可

ラスシテ、偽リナルコトアリ、然レモ、差客ノ前唱、
 偽リナラハ、差主ノ後和、必ス偽リナルヘシ、譬ヘ
 ハ、今甲ヲ真トナリトセハ、其中ニ含ミタル乙モ、
 真トナルコト著シ、サレト、甲モ乙モ、皆偽リニテ、
 ○松||草||松||草ト云ハ、自ラ係リ合フコト
 ナシ、此理リハ、裏題ニテモ然ナリ、ナヘテ反對互
 證ハ、両題ノ相係ハル理リヲ、示シタル者ニテ、譬
 ヘハ、乙ノ「○鯨||魚ヲ偽リトセハ、乙ノ反言對ナ
 ル丙ノ「○鯨||魚ハ真ナリトシ、丙ノ本来、反對ナ
 ル甲ノ「○鯨||魚ハ偽リトス、又差客ノ乙ノ「○山

〓石ヲ真トナリトシタリ氏、差主ノ甲ノ「〇山〓
 石ハ、必ス真トシ難ク、又乙ノ小反對ナル丁ノ「〇
 山」石モ、障ナケレ氏、丁ノ反言對ナル、甲ノ「〇山
 〓石ハ、亦偽リニテ、而テ甲ノ實反對ナル甲ノ「〇
 山〓止モ、必ス肯ス可ラサルカ如ク、カク交互ニ
 比較シテ、其關係ヲ審カニスルナリ

第十六章 轉換互證

轉換ノ法ハ、題ノ極ヲ主位ト屬位ト、取り換フル
 コトニテ、前唱ヲ轉語[conversion]ト名ケ、換ヘラ
 ル、者トシ、後和ヲ、換語[conversion]ト名ケ、換

フル者トス、其法ニツアリ、單轉換[conversion]
 simple]不定轉換[conversion per accidens]

對偶轉換[conversion by contraposition]ナ

リ、單轉換ハ丙乙ノニツニ於テ、施スヘシコハ皆、
 主位モ屬位モ、度量異ナルコト無ケレハ、其形質
 ヲ、易フルコトナク、置キ換フヘシ、式ニテ、丙ノ「〇
 イ」〇ロヲ「〇ロ」〇イトナシ、又乙ノ「〇イ」〇
 ロヲ換語ニ因テ、「〇ロ」〇イトスルニテ、譬ヘハ、
 窮スル斯ニ濫スル者ハ君子ニ非ルナリ、君子
 ハ窮スル斯ニ濫スル者ニ非ルナリトナシ、又「或

小道ハ觀ルヘキ者ナリヲ或觀ルヘキ者ハ小道
 ナリトナトノ如シ、コハ亞甲ニテモ、然ナリ、不定轉
 換ハ轉語ヲ換フルカ上ニ、其度量ヲモ、全称ヨリ
 特称ニ換フルナリ、唯形質ハ易フルコトナシ、甲
 ハ單轉換ニ供フ可ラサル者ナリ、故ニ、不定轉換
 ニテ、乙ニ換フヘシ式ニテ、 $\text{○イ} \parallel \text{○ロ}$ ヲ、 $\text{○ロ} \parallel$
 ○イ ト、イロノ極ヲ換ヘ、又主位ノ度量ヲ易フル
 ニテ、譬ヘハ、 凡テノ獸ハ動物ノ一ツ ナリテ、 動物ノ一ツハ獸ナリト云フカ 如シ、又此法ニテ
 丙ヲ丁ニ換ヘ、 $\text{○イ} \parallel \text{○ロ}$ ヲ、 $\text{○ロ} \parallel \text{○イ}$ トスヘ

シ、サレト、丙ハ單轉換ニ供フヘキ者ナレハ、此法
 ハ餘リニ用ヒ又格ナリ、對偶轉換ハ、對偶ノ法ト、
 轉換ノ法ト、相雜リテ、重ナレル運用ナリ、先、轉語
 ニ倣ヒテ、對偶ノ換語ヲ作り、此換語ヲ置キ換フ
 ルナリ、丁ハ主位特称ニテ、属位全称ナレハ、上ノ
 ニ、通りノ法ニ、供フヘカラス、サルヲ、對偶法ニテ
 其否定ノ標シテ、肯定トナセハ、丁ノ對偶ナル乙
 ヲ得、即チ $\text{○イ} \parallel \text{○ロ}$ ヲ、 $\text{○イ} \parallel \text{○ロ}$ ナラヌ者ト
 ナレ、サテ、此對偶ヲ、倒サマニナシナハ、 $\text{○ロ} \parallel \text{○イ}$
 又者ハ $\text{○イ} \parallel \text{○ロ}$ トナル、譬ヘハ、 久シク約ニ居ル能

手知啓蒙 卷二 十三

ハサル者ハ仁者ニ非ルナリヲ久シク約ニ居ル
能ハサル者ハ不仁者ナリトシ之ヲ轉換法ニテ
不仁者ハ久シク約ニ居ル能ハサル者ナリトス
ルカ如シ又丙モ右ノ如ク覆ヘスコトヲ得ヘシ
即チ丙ノ對偶ハ甲ニテ甲ヲ得タル上之ヲ不定
轉換ニカケテ乙ヲ得ヘキナリ其外此轉換ハ取
ラサル説ト又亞甲亞乙マテ及ホス説トアリテ
區々ナルヲ今ハ唯其梗概ヲノミ舉テ委シキコ
トハ原ツ文ニナム譲リツル

第十七章 演題四圖

前ニ論ラレシ引證直チナルハ互證ニテ即チ
此前一種々ノ法ヲ舉ツル者ナリ其一ツハ演題
ニテ爰ニ論ラフ旨ナリコハ媒ヲ取りテ引證
スル者ナレハ其法モ種々アルカ中ニ正格[*cate-*
gorical]ノ演題ハ極三ツアリ之ヲ老極[*major*
term]中極[*middle term*]少極[*minor term*]ト名ク
此三ツノ極一ツノ式ノ内ニ再ヒ頭ハル今一ツ
ノ演題ヲ示ス
似テ非ナル者ハ 真ヲ賊スル者ナリ
郷愿ハ 似テ非ナル者ナリ

致和啟蒙 卷二 十三 十三

故ニ郷愿ハ 真ヲ賊スル者ナリ
 右ノ演題ニテ、真ヲ賊スル者テフヲ、老極トシ、似
 テ非ナリ。者テフヲ、中極トシ、郷愿テフヲ、以極ト
 ス、老ト少トハ、互ニ、後和ノ主位ト、属位トナル
 者ナリ、是ヲ以テ、極端[*extremities*]ノ名アリ、中ハ
 前唱ニテ、ミ頭ハル、極ニシテ、又主位トナリ、属
 位トナルナリ、コハ專ラ餘ニツノ極ヲ量ルモノサシ矩
 ノ如ク、題中ノ元極トシ、肯定ノ題ヲ、正格ノ如ク、
 布ク時ハ、佗レニツノ間々ニ在テ、老極ノ内ニ含
 ヲシ、以極ヲ已レニ、含ム者ナリ、サテ、此三ツノ極

互ヒニ重ナリ、ニツク、月主属トナル故ニ、題ハ
 三ツナリ、此三ツノ題、又重ナル内ニテ、上ノ二
 ツハ、前唱ニ當リ、引證ノ目的トナリ、下ノ一ツハ、
 後和ニ當リ、即チ上ニツク、引證シタルナリ、故ニ
 上ニツノ題ヲ、兩約[*promised*]ト名ケ、下一ツノ
 題ヲ、斷言[*conclusion*]ト云フ、又上ニツノ題ノ中、
 ニテ、老ト中ト頭ル、ヲ、老約[*major promise*]ト
 ノト、中ト少トアルヲ、少約[*minor promise*]ト
 云フ、故ニ必ス、三極相待テ、引證ニ供スヘキハ、尋
 常ノ據證[*argument*]ニテモ、異ナルコトナシ、譬

ハハ、老媪ノ言ニ、太郎ハ、温良イカラ、愛ラシト
云フカ如シ、サレト致知家ニテハ、其序テヲ定メ
老約ヲ初メニ、以約ヲ次ニ、サテ終リニ、カレテフ
言ヲ冠リテ、断言ヲ置クナリ、今前ナル老媪ノ言
ヲ、演題ニ布キナハ、温良ナル者ハ愛スヘキ者ナ
リ、太郎ハ温良ナル者ナリ、故太郎ハ愛スヘキ者
ナリトナルヘシ、カレテフハ、爰ノ舊キ言ニテ、カ
ルカユエニソレニテ、アルカラテフモ、同シ意ナ
ルヲ、今ハ短キヲ撰定セタルナリ、此記號ニ、表
ニテハ、カ、ル標シヲ用テ、カレシ、サテ、老ハ断ハ

序テハ、近クハ少老断トスルヲ、良シトスル説ア
リテ、サルヘキコトナレト、今ハ唯舊クヨリ、傳ヘ
タルヲ、云フノミ、ナヘテ爰ニ論ラフ演題ハ、前ノ
甲乙丙丁ノ外ハ、取ラス、モシ其外ノ式ヲ用ヒナ
ハ、断言ニ至リ、イト難カルヘシ、サテ、此演題ノ要
メナル所ハ、老ハ二約ニハアラテ、全ク中極ニ在
リ、故ニ、中極ノ位井スル所ニ從ヒテ、其司トル所
亦異ナリ、サレト、據證ノ真トニ於テハ、少シモ、易
ハルコトナリ、其中極ノ占位ニ、四ツノ差メアリ
テ、其差メニ因テ、演題ノ四圖ハ、出来タルナリ、ソ

ハ、次ノ表ニテ知ルヘシ

老約	中	老	第一圖
少約	少	中	第二圖
老約	中	老	第三圖
少約	少	中	第四圖

右ハ皆中極ヲ目的ニ取りテ、立タル者ナレハ、其互ヒニ主位トナリ、属位トナリタル様ニ、心シテ見ルヘシ、今階梯ノ為ニ、徳テフ中極愛スヘキ者テフ老極並ニ、正直テフ少極ヲ授クヘシ、試ミニ、錯綜シテ、此四圖ヲ試ミヨサテ、此四ツノ圖ニ、各

度量觀ト、形質觀トヲ充テ、上ノ甲乙丙丁ヲ配リ、演題ノ軌[road]ト云フ者トス、サレハ、甲乙丙丁ヲ、四ツノ圖ニ、乘ケテ、十六軌ヲ得、又各、四ヲ乘ケテ、六十四軌ヲ得ルナリ、サレト、此六十四軌ハ、悉ク用ヒニ供フヘキ者ニハ、非ルナリ

第十八章 首圖定則

致知學家多クハ、此第一圖ヲ、演題ノ、イト能、協ヘル式トシテ、之ヲ取り、以謂テク、此式ニテハ、中極其位并ヲ得、佗シニ極ヲ結ヒテ、斷言ニ斷ハル者ナリト、コハ老約ノ中極ハ、老極ニ含マレ、少約ノ

中極ハ、少極ヲ含ミタルヲ、謂フナリサレト然相
 係ハル様ハ、少約ヲ前トシ、老約ヲ次トシタル、第
 一圖ノ變化ニテ、其様尤モ明カナリ、ソハ「○少極
 〓中極」○中極〓老極」〓○少極〓老極」テフ演題
 ニテ、少極ハ中極ニ含マレ、中極ハ、老極ニ含マレ
 タリ、カレ、是ヲ以テ少極ハ老極ニ含マレタリテ
 フナリ、コハ裏題ニテモ、然ナリ、即チ「○少極〓中極
 〓中極〓老極」〓少極〓老極」ニテ、少極ハ中極ニ
 含マレタルト、中極ハ老極ニ含マレサルナリ、カ
 レ、是ヲ以テ、少極ハ老極ニハ含マレサルナリ、テ

フナリ、爰ニイフ含ムトハ第九章彙類ノ法ニテ
 是ハ其ノ類ナリ其ハ彼ノ種ナリ、テヌコトニテ、
 譬ヘハ、少極ハ中極ノ中ノ一種、中極ハ老極ノ中
 ノ一種ナレハ、少極ハ老極ノ中ノ一種ナリト、謂
 フニ均シ、又第十二章ノ同一不同一ノ考ヘニテ、
 之ヲ言ハ、是ハ其ト同一、其ハ彼ト同一ナレハ、
 彼ハ是ト同一ナリト、定ムルコトナリ、是此媒子
 ニテ、彼ノ物ヲ引證シタルニテ、上ノ例シハ、此理
 リヲ示レタルナリ、又之ヲ理ニテ言ハ、此物ハ、
 其物ト同一理ニテ、其物ハ彼ノ物ト同一理タレ

ハ、此物ハ、彼物ト同一理ナリト、謂△カ如シ、サレ
 ハ、此理リニ因テ、一ツノ單元ヲ立テ曰ク、甲之與
 丙同一^ニ而乙之與丙同一則甲乙亦同一 [Things
 which are identical with the same thing

are identical with each other] ト、是首圖ニテ、演繹
 ノ法ヲ運用スルノ定則 [rule] ナリ、此單元ヲ閉イ
 テ、舊クヨリ、皆有全無之辨 [Distinction de omni et de
 nullo] ト云ヒ、二ツノ定則ヲ立タリ、其一ツハ、外
 延ノ考ヘニテ、種ト類トヲ、宗トシテ、演題ヲ考フ
 ル法ナリ、ソハ、可證諸類^ニ而定、其有無^ニ可否^者、亦可^下

證諸種^ニ而定、其有無^ニ可否^也 [Whatever is (as
 formally or negatively) predicated of
 a class, may be predicated in like manner (that
 definitively or negatively) of everything inclu-
 ded in the class] テフ定則ナリ、コハ老約一テ、中
 極ハ老極ノ類^{ナリ}トカニ非ストカ^ニ命證シ、少約
 ニテ少極ハ、中極ノ一種ナリト命證シタラハ、断
 言ニテ、少極ハ、老極ト同一^{ナリ}トカニアラスト
 カ^ニ定證スヘシトナリ、爰ニテハ、中極ト少極トス
 類ト種ト見老極ハ、中少二極人共ニ有テル形質

及口
 廿
 廿

ト見タレトモ、此形質即チ類ヨリ一層大イナル
類ト見レハ、外延ノ考一ナリ、二ツ目ハ、形質ヲ宗
トシテ、内包ノ考ヘニテ、演題ヲ考フル法ナリ、ソ

ハ、標中之標、是物之標、The mark of a mark is a

mark of a thing、]テフ定則ナリ、コハイト

理會カタキコトナレハ、譬ヘテ取りテ言ヒナム、

今雪ヲトアル者ト定メ、此雪ニハ、冷シテフ標シ

アリトシ、サテ冷キ者ハ、物ヲ冷ステフ標シアリ

トセハ、即チ雪テフ者ハ、物ヲ冷ステフ標シアリ

ト知ルナリ、其如ク、少極ニハ、中極テフ標シアリ

トス、是初メノ標シナリ、此標シナル中極ニハ、老

極テフ標シアリトス、是二ツ目ノ標シニテ、即チ

少極テフ者ノ標シハ、老極ナリ、是内包ノ考ヘナ

リ、サテ、此三ツノ定則ニ本キテ、又三ツノ條則ヲ

立タリ、一ツニハ、少約ハ、必ず肯定ナルヘシ、此約

ニテハ、少極ハ、主位トナリ、中極ハ、属位タレハ、主

ハ、属ノ内ニ、含マレテ、少極ハ種名、中極ハ類名ナ

ルヘシ、モ否否定ニテ、含マレサル時ハ、老約トノ

關係ヲ失フナリ、二ツニハ、老約ハ、必ず全称ナル

ヘシ、此約ニテハ、中極主位トナリ、類名ナル故ニ、

其類ヲ総フル老極ハ猶総概ノ名ナルヘク故ニ
持称ナリ三ツニハ老約ノ形質肯否ハ断言ノ形
質ヲ定メ必約ノ度量全特ハ断言ノ度量ヲ極ム
ルコトト知ルヘシコハ言ヲ待サルコトナレト
モ心スヘキコトニナム

第十九章 演題通則

上ニ舉タル定則ハ第一圖ニ當ツル者ニシテ他
レ三ツノ圖ニハ通ハスヘクモアラスアル説ニ
テハ他レ三圖モ第一圖ニ化レテ見ルヘシト云
ト又或説ニテハ通則ヲ用フヘシト云ヘリ此通

則ノ元規トテ一ツハ肯定ニ係ハリ他レハ否定
ニ係ハリテ立タル單元次ノ如シ曰ク二極之與
第三極相合者亦互相合「Two terms which agree
with the same third term agree with each other」
又曰ク其一合而其一不合者莫相合「Two terms,
whence of the one agrees and other disagrees
with the same third term, disagree with
each other」第三極トハ中極ヲ指シ二極トハ老少

ナリコハトアル三極アル時ハ中極ヲ本トシ莫
逆嘉納ノ法ニ因テ同一ナリトカ不同一ナリト

カ、相量リテ、表裏二題、内ニ、定ムヘシトナリ、即チ甲之與丙同一、而乙之與丙同一、則甲乙亦同一、テラ單元ヲ説キタルナリ、唯此二則ヲ用フルハ、先、度量ノ標シテ、審カニシ、特称ノ題ハ、全称ノ題、内ニ、含マル、コトナキヲ、能ハスヘシ、サテ、此ニツ、單元ニ就テ、六ツノ條則ヲ立タリ、是演題ノ通則ニシテ、此六ツニ、外ル、時ハ、偽題 [fallacy] タリト知ルヘシ、一ツニハ、演題ハ、三極ヲ常トシ、多カル可ク、少ナカル可ク、唯少ナキコトハ、絶ニテ

無シト雖、氏、時トシテ、一ツ言ノ種々ニ心ヲ持ツコトアリテ、全特ノ統紛ラ、全シク、三ツハ極、四ツトナルコトアリ、譬ヘハ、恭、近、於、禮、遠、恥、辱、ヲ、題トシ、第二圖ニテ、恭ノ禮ニ近キ者ハ、恥辱ニ遠カル者ナリ、君子ノ禮ハ、恥辱ニ遠カル者ナリ、カレ君子ノ禮ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリト云フ如ク、禮ノ字ヲ攙ミテ、極ヲ四ツニシタルナリ、今本題ヲ正シ、同シク、第二圖ニテ、恥辱ニ遠カル者ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリ、君子ノ恭ハ、恭ノ禮ニ近キ者ナリ、カレ君子ノ恭ハ、恥辱ニ遠カル者ナリト云ハ、

合格ナルヘシ、コハ心スヘキコトナリカレ、ニツ
ニハ中極ハ、二約ノ内ニテ其一ハ、必ス全称ナル
ヘシ、中極ハ、二極ヲ較フル者ナレハ、モン再ヒ特
称ニテ頭レタラハ、断言ニテ、支障アルコト言ヲ
待タス、譬ヘハ、第三圖ニテ、或、小人ハ、邦家ヲ乱ル
者ナリ、或、小人ハ、刑罰ヲ畏ル、者ナリ、カレ邦家
ヲ乱ル者ハ、刑罰ヲ畏ル、者ナリトノ如シ之
ヲ中極特称ノ偽題ト云フ三ツニハ、老少ノ二極
約ニテ特称ニテ、断言ニテ、全称トナル時、三類
トナルナリ、之ヲ老極不法、又少極不法ノ偽題ト

云フ、譬ヘハ、第四圖ニテ、不肖ノ教誨ハ、教誨ナリ
教誨ハ、善ニ導ク者ナリ、カレ善ニ導ク者ハ、不肖
ノ教誨ナリト云ハ、老極不法ノ偽題トシ、又第
四圖ニテ、宴饗ハ、歡ヲ合スル者ナリ、歡ヲ合スル
者ハ、禮ナリ、カレ禮ハ、宴饗ナリト云ハ、少極不
法ノ偽題トスルナリ、四ツニハ、兩約トモ、肯定ナ
ル時ハ、断言必ス肯定ナルヘシ、然ササレハ、第一
ノ單元ニ、戻ルナリ、五ツニハ、兩約ノ内、何レカ否
定ナラハ、断言ハ否定ナルヲ必ストス、然ササレ
ハ、第一ノ單元ニ、戻ルナリ、六ツニハ、兩約共ニ、否

定ナレハ、断言ヲ下スニ、由ナシ、此内ニテ第一條
ヲ犯スハ、演題ノ正シキ形ヲ誤ルナリ、第二三條
ヲ犯スハ、度量ヲ誤ルナリ、第四五六條ヲ犯スハ、
形質ヲ誤ルナリ、中ニモ中極特称ト、老少不法ノ
偽題得テ有、勝ナリトス、學者能、心スヘシ

第二十章 二十四軌

上ニ云ヒシ六十四軌ヲ、右ノ六則ニカケテ試ム
レハ、圖コソ如何ニモアレ其内五十三軌ハ、必ス
断言ニテ、イト醜クシコハ、一ツモ、第一則ヲ犯セ
ルニハ、アラサレトモ、度量形質ハ、タニ類ノ則ヲ

犯セシ者トス、故ニ此五十三ヲ六十四ノ内ヨリ
除キ、殘レル十一軌ヲ得、コハ、常ニ用ヒテ、供フヘ
カリ、此十一軌ノ内、四ツハ、肯定ノ断言ニテ、甲甲
甲、甲甲乙、甲乙乙、乙甲乙ナリ、七ツハ、否定ノ断言
ニテ、甲丙丙、甲丙丁、甲丁丁、丙甲丙、丙甲丁、丙乙丁
丁甲丁ナリ、サルニ此十一軌、悉ク四圖ニ、充ソヘ
キ者ニアラサレハ、其充ソヘキ者ヲ撰ビテ、各六
ツツ、ニ配リ、二十四軌ヲ得ルコト、左ノ如シ

第一圖

甲甲甲

甲甲乙

丙甲丙

丙甲丁

甲乙乙

丙乙丁

第二圖

丙甲丙

丙甲丁

甲丙丙

甲丙丁

丙乙丁

甲丁丁

第三圖

甲甲乙

乙甲乙

甲乙乙

丙甲丁

丙乙丁

丁甲丁

第四圖

甲甲乙

甲丙丙

甲丙丁

乙甲乙

丙甲丁

丙乙丁

右ノ内欄内ナル五軌ハ、全称ノ断言ヲ受クヘキ
 所ニ特称ヲ受ケタレハ、用ヒニ供ヘ難シトス、遺
 リテ四圖ハ内ナル十九軌ハ、上ノ六條則ニ照ラ
 シ、違フコトナキヲ以テ、皆用フヘキ者ナリト、猶

カシコ爰ニソレソレ條則ノ入ルコトアリ、コハ

皆上ノ通則ヨリ、推擴メタル者ナリ、ソハ

第一圖ニテ、此圖ハ三ツノ殊別ナル條則ハ、前

ニ云ヒレ如クナリト雖、且又通則ニモ照スヘ

キナリ、ソハ、一ツニハ、必約ハ、必ス肯定ナルヘレ

モシ之ヲ否定トナサハ、第六則ニ從ヒ、老約ハ、音

定ナルヘクシテ、其属位ノ老極ハ、特称ナルヘク、

又第五則ニ從ヒ、断言ハ、否定ナルヘクシテ、其属

位タル老極ハ、全称ナルヘレ、是第三則ヲ破リテ、

老約不法ノ偏題ニ陥ルヘレ、ニツニハ、老約ハ必

ス全称ナルヘシ、モシ其主ノ中極ヲ、特称トナシ
 タラハ、今云ヘル通則ニテ、少約ハ、肯定ナルヘク
 シテ、其属位ノ中極ハ、特称トナスヘシ、是第二則
 ヲ犯シテ、中極特称ノ偽題トナルヘシ、三ツニハ、
 老約ノ形質ト、少約ノ度量トハ、断言ヲ極ムルコ
 ト前ニ云ヒシ如シ、故ニモシ老約否定ニテ、断言
 肯定ナラハ、第五則ヲ犯スナリ、モシ老約肯定ニ
 テ、断言否定ナラハ、第四則ヲ犯スナリ、又中極ハ、
 此圖ニテ、少約ト断言トノ主位ナルニ、前ニ特称
 ニテ、後ニ全称ナラハ、少極不法ノ則ヲ犯スヘシ、

唯少約ニテ、全称ナラハ、是ニ継ク断言ノ少極ハ、
 差等ニテ、特称タルヲ得ヘシ
 第二圖ニテ、此圖ノ殊列ノ則ハ、三ツアリ、一ツ
 ニハ、約ノ内一ツハ、否定ナルヘシ、モシ兩ツナカ
 ラ、肯定ナル時ハ、中極兩約ノ属位ニテ、再ヒ特称
 トナルヘシ、ニツニハ、断言ハ、否定ナルヘシ、約ノ
 内一ツ、否定ナレハ、第五則ニ從ヒ、サナクテハ、得
 アラシ、三ツニハ、老約ハ、全称ナルヘシ、断言否定
 ニテ、其属位ノ極、全称ナレハ、其本タル極、約ニテ
 ハ、全称タルヘキナリ

第三圖ニテ、此圖ノ殊別ノ則ハ、ニツアリ一ツ
 ニハ、少約ハ、肯定ナルヘシ、モシ否定ナル時ハ、第
 六則ニ因テ、老約肯定トナリ、其属位ノ老極ハ、全
 称タルヲ得サルヘシサレト、第五則ニテ、断言ハ
 必ス否定タルヘケレハ、其老極ハ、全称トナリテ、
 老極不法ヲ犯スヘシ、ニツニハ、断言ハ、必ス特称
 ナルヘシ、第五則ノ如ク、少約ハ、肯定ニテ、其属位
 ノ少極特称ナレハ、断言ニテ、少極全称ナラハ、少
 極不法ヲ犯スニ至ルヘシ
 第四圖ニテ、此圖ハ、容易カラヌ圖ニテ、之カ為

ニ、殊別ノ則ヲ、立ラスシテハ、至テ又節ソ多カル、次
 ノ三ツハ、用ヒ來レル内ニテ、イト廣キ者ナリ、一
 ツニハ、モシ老約肯定ナル時ハ、少約ハ、全称ナル
 ヘシ、中極ハ、老約ノ属位ニテ、此約肯定ナル時ハ、
 特称ナリ、サルヲ、モシ少約特称ナル時ハ、中極ハ
 其主位ナレハ、再ヒ特称トナルヘシ、故ニ中極特
 称ノ誤リヲ防クヘキナリ、ニツニハ、少約否定ナ
 ル時ハ、老約、必ス全称ナルヘキナリ、モシ老約特
 称ナラハ、主位ノ老極、特称タルヘシ、サレト、第五
 則ノ通りニテ、断言ハ、否定ナルヘク、而テ爰ノ老

極ハ、全称ナルヘケレハ、老極不法ヲ犯スコトト
ナルナリ、三ツニハ、少約肯定ナル時ハ、断言ハ、特
称ナルヘシ、少極少約ノ属位トシテ、特称タレハ、
断言ニテ、全称タルコトヲ得ヘカラス、是少極不
法ノ罪ヲ防クナリ、

第二十一章 化形還元

上ニ舉タル條則ハ、サルコトナレバ、アル致知學
家ハ、第一圖ヲノミ取りテ、之ヲ正圖トシ、他シ三
ツハ、其变格ト見テ、之ヲ第一圖ノ演題ニ直シテ
用フル者アリ、カク直ス又還元 [reduction] トハ

云フナリ、其法重ニ一約カ、若クハ、両約カ轉換カ
法ニテ、直スコトニテ、第二圖不中極元ヨリ、少約
ニテ、正^ッレキ位ニ在レハ、老約ノ轉換ニテ、事濟ム
ヘシ、第三圖ハ、少約、第四圖ハ、両約ノ轉換ニカク
ヘシ、サルニ、カク轉換ニカケタラハ、其演題原ノ
圖ニテハ、イト良キモノヲ、第一圖ニ、移シテハ、サ
ナキコト間々アリツハ、第二圖ニテ、甲丙丙ハ、イ
ト良キ題ナルヲ、移シテハ、老極不法ヲ犯スカ如
ク、サレト、第一圖ニテハ、丙甲丙、イト良キ題ナレ
ハ、此両約ノ位并テ、相換ラレハ、禁リタルコトヲ

致知啓蒙

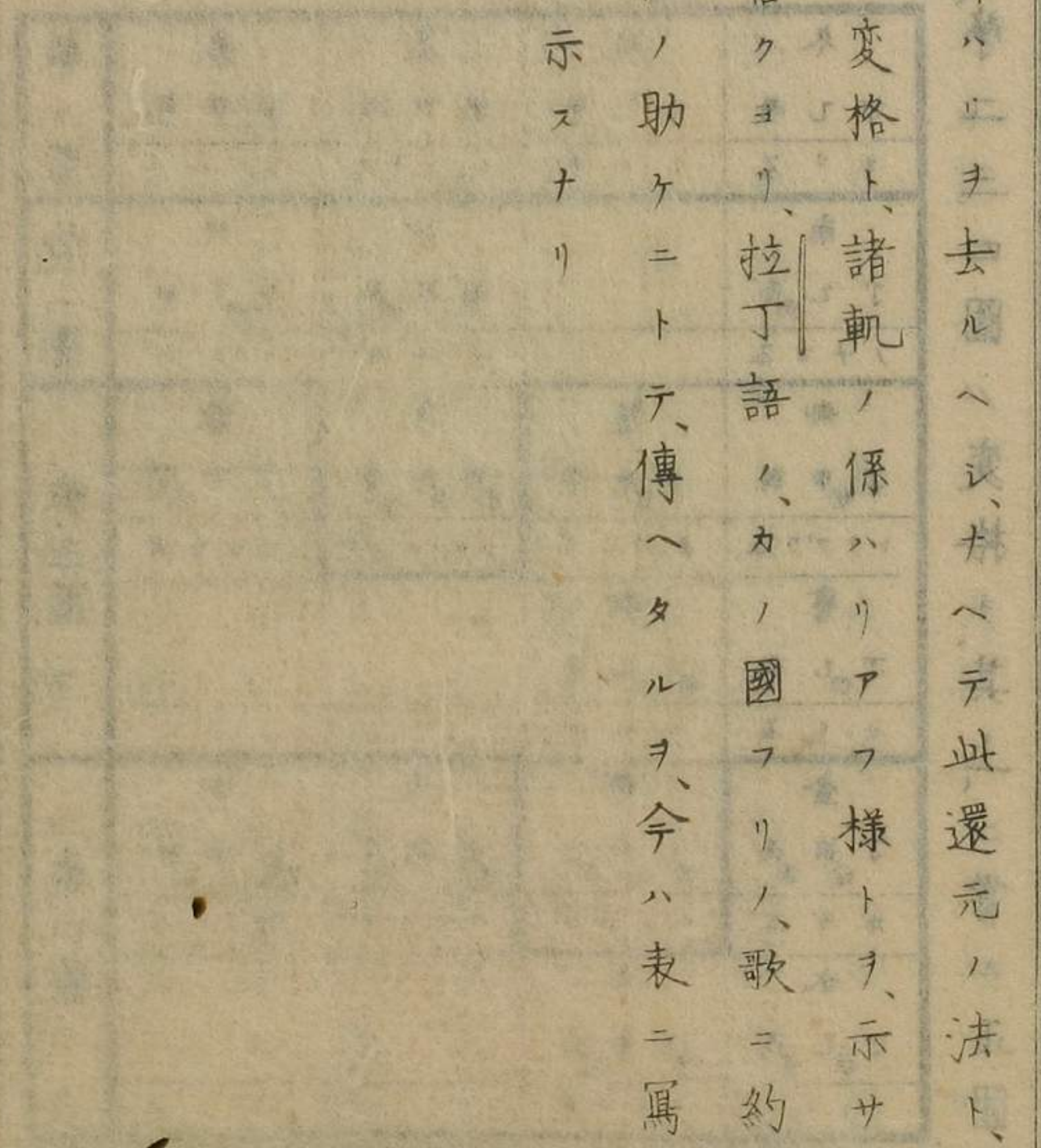
卷二

二十七

致知啓蒙

得へキナリ、サルニ又、カク約ノ位ヲ換フル時ハ、
 時トシテハ、轉換ニ及ハサルユトアリ、サレトカ
 ヲ相換ヲナマシ、時ハ、老少ノ極、其職掌ヲモ、換ヘ
 者カラ、其響キニテ、斷言ノ轉換ニ、至ルヘキナ
 リ、故ニ還元ハ、時ニヨリテ、三ツノ法ヲ用フヘシ、
 即チ約一ツ、又ハ二ツノ轉換、兩約位置ノ相換
 [negotiation] 斷言ノ轉換ナリ、此三ツノ法ヲ互
 ニ用ヒテ、還元ハ、出来ヘキユトナリ、唯第二圖
 ノ甲丁丁、第三圖ノ丁甲丁ハ、丁ヲ直チニ轉換
 カクヘカラサレハ、イテ難シトス、コト對偶ノ法

ニテ、其障ハ、去ルヘシ、ナヘテ此還元ノ法ト、
 又正圖ト變格ト、諸軌ノ係ハリアフ様トテ、示サ
 ムトテ、舊クヨリ、拉丁語ノカノ國ヲリノ、歌ニ約
 ノテ、記性^{メモ}ノ助ケニトテ、傳ヘタルヲ、今ハ表ニ寫
 シテ、左ニ示スナリ



歌口歌集
 卷二
 二十八
 歌集

還元表九十軌

右ノ表ハ、第二三四圖ノ変格ヲ、其上、ニ當ル正圖

冬 丁乙丙 オリ五	秋 乙乙甲 イリダ	夏 甲丙 ト、イラセ	春 甲甲甲 ラバルバ	第一圖
南 丁乙丙 ノチス五		東 丙甲丙 レサセ	北 丁丁甲 コロバ	第二圖
御 丁甲丙 シトアラ五	禮 乙甲甲 チアラダ	西 丙丙甲 スレトスモカ	數 丁甲丁 ドルカガ	第三圖
書 丁乙丙 ソリ五	射 乙乙甲 イチダ			
金 丁甲丙 ホザ五	樂 乙甲乙 ハミサチ	火 丙丙甲 スチメホ	木 乙甲甲 ブキシマラフ	第四圖
水 丁乙丙 シチ五	土 乙甲乙 スリマチ			

ニ照シテ、之ヲ直スヘキコトヲ示シタルトリ、甲乙丙丁ノ下ノ左リナル、圈ノ内ノ標シハ、①、直チニ單轉換ニ、カクヘキヲ示シ、②ハ、不定轉換、③ハ、兩約位置ノ相換、④ハ、反言對ヲ用フヘキヲ示シタリ、春夏秋冬ノ字ハ、假ニ軌ノ名トスル者ナレハ、次ノ圖ニ照シ見ルヘシ、下ノ方ニ、記ルス名ハ、聊カ原名ヲ遺サム為ナリ、此原名ヲ、能記シ得タラハ、容易ク直シ得ヘシ、ソハ、先、名頭ラノ音、バ、ビ、ブ、ベ、ボナラハ、正圖ノ一、即チ春ニ當リ、カキケコナラハ、正圖ノ二、夏ニ當リ、ダチヅデド

效口效
二十九
廿

收口
收蒙
三十
計
採
考

Monemonic table.

Barbara, celarent, prima
darii, ferioque:
Cesare, camestres, festino,
baroco, secunda
Tertia darapti, disamis,
datisi, felapton, feriso,
bocardo habet:
Quarta insuper addit,
bramantip, camenes, dimaris,
fesapo, fresison.

a	e	i	o	b	c	d	f
甲	丙	乙	丁	春	夏	秋	冬
s	c	m	p				
單	反	位	錯				

ナラハ、正圖ノ三、秋ニ當リ、今不るるヲナラハ、正
圖ノ四、冬ニ當ルト知ルヘシ、又バカダケノ如キ、
アノ韻アルハ、甲ナリ、ベケデ五ノエノ韻アルハ、
丙ナリ、ビキチ不等イノ韻アルハ、乙ナリ、ボコド
不等オノ韻アルハ、丁ナリト知ルヘシ、又サレ
ソ等ノ音アル名ハ、單轉換ニテ、直スヘシ、カキク
コ等ノ音アルハ、反言對ニカクヘク、マシムモ等
音ニハ位置相換タルヘク、パピポ等ハ、全
特ニ、変スヘキヲ示シタルナリ、ユハ、ウレク洋字
ニ通レタル輩ニハ、次ノ原文ニテ明カニ知ラレ

至
知
府
卷
三
七
八
九

至矣 啓蒙 卷二

尚爰ニ上ノ四圖十九軌ヲ著ハシテ、委シク之ヲ示スヘシ、觀△者、上ノ名ト相較セヨ

四圖十九軌之表

<p>第一 甲 ○ 中 老 甲 ○ 少 中 甲 ○ 少 老</p>	<p>第二 丙 ○ 中 老 甲 ○ 少 中 丙 ○ 少 老</p>	<p>第三 甲 ○ 中 老 乙 ○ 少 中 乙 ○ 少 老</p>	<p>第四 丙 ○ 中 老 乙 ○ 少 中 丁 ○ 少 老</p>
<p>第五 丙 ○ 老 中 甲 ○ 少 中 丙 ○ 少 老</p>	<p>第六 甲 ○ 老 中 丙 ○ 少 中 丙 ○ 少 老</p>	<p>第七 丙 ○ 老 中 乙 ○ 少 中 丁 ○ 少 老</p>	<p>第八 甲 ○ 老 中 丁 ○ 少 中 丁 ○ 少 老</p>
<p>第九 甲 ○ 中 老 甲 ○ 中 少 乙 ○ 少 老</p>	<p>第十 乙 ○ 中 老 甲 ○ 中 少 乙 ○ 少 老</p>	<p>第十一 甲 ○ 中 老 乙 ○ 中 少 乙 ○ 少 老</p>	<p>第十二 丙 ○ 中 老 甲 ○ 中 少 丁 ○ 少 老</p>

<p>第十三 丙 ○ 中 老 乙 ○ 中 少 丁 ○ 少 老</p>	<p>第十四 丁 ○ 中 老 甲 ○ 中 少 丁 ○ 少 老</p>	<p>第十五 甲 ○ 老 中 甲 ○ 中 少 乙 ○ 少 老</p>	<p>第十六 甲 ○ 老 中 丙 ○ 中 少 丙 ○ 少 老</p>
<p>第十七 乙 ○ 老 中 甲 ○ 中 少 乙 ○ 少 老</p>	<p>第十八 丙 ○ 老 中 甲 ○ 中 少 丁 ○ 少 老</p>	<p>第十九 丙 ○ 老 中 乙 ○ 中 少 丁 ○ 少 老</p>	

第二十二章 扱格諸題 *ilhradylogos*

右ニ舉タル正格ノ外ニ、尚彼此ノ據證ニ備ッヘキ者アリ、コハ正格ノ如ク、備ハリタル者ニ非レ氏、彼此ノ文、トモニ見ユルコトアレハ、心得ヘキコトナリ、一ツニハ、演題トマテ、ナラサル二題ニ

文口文 卷二 三十一 附保

テ、前唱後和ヲ籠メタルヲ散體 [enthyame] ト云
 フ、コハ「イハロナリ」故ニ是等ハハナリ或ハ「イハ
 ロニテハナリ」又「イノロナルハハナレハナリ」ナ
 トノ類ヒナリ、カク三ツノ極備ハリタルハ容易
 ク本題ニ直スヘキナリ、ニツニハ、離合格 [conjug
 style and adjectival] ト云フアリ、コハ物ノ真ト
 ヲ、極メテ顯ハサシテ、徒ニ此物ト、彼物トノ係
 ハリ合フ理リヲ、顯ハス者ナリ、故ニ此據證ニテ
 ハ、曾テ三ツ目ノ真トニ至クコトナシト知ルヘ
 レ、離合格分ナテ、ニツトナス、一ツニハ、雙契體 [dy
 ph]

poetical conjunctive ト云フコハトアル約束

ヲ立テ、トアル事ノ、相關ハレルヲ、明カス體ニテ、
 肯定ニテ、イハロナラハ、ロハハナリ、否定ニテ、イ
 ハロナラハ、ロハハニ非ルナリ、複題ニテ、イハロ
 ナリ、ハハニナリセハ、ホハヘナリナトノ類ヒナ
 リ、初メノ題ニテ言ハ、ロトハトノ係ハリ合ハ、
 イト明カナレト、コハイトロトノ係ハリ合、定マ
 リテ後ニ、立ツヘキコトニテ、イトロトハ、定カナ
 ラヌカ如レ、佗レ一ツハ離攝體 [disjunctive] ト
 云フ、コハ、正シク上ト相背キテ、全體ニテハ、定カ

ナレト現在ハ及テ定カナラヌ様ニテ、イハロ。若
 クハハナリ又、イハロ。ニ非レハ、必スハナリナト
 ノ如ク、ロトハトノ内、一ツハ真ト一ツハ偽ハリ
 ニテ、定メ難キナリ、其否定又複題モ、推シテ知ル
 へシ、此中、雙契體ヲ、イト重子タルアリ、コヲハ唯
 約契體 [hypothetical] ト云フ、譬へハ、イハロナリ、
 ロハハナレト、ロハニナリ、故ニロハハナリナト
 ノ如シ、致知學ノ本書ニ、考フヘシ、是ニ種々ノ説
 アレト、遂ニ真トヲ顯ハスコトナレ、ニツニハ、渾
 體 [positives] 又連環體 [chain argument] ト云フ、ア

リ、コホ、多クノ少約ヲ重子タルニテ、其順體ハ、イ
 ハロナリ、ロハハナリ、ハハニナリ、ニハハナリ、故
 ニホハイナリ、其逆體 [poslemma positives] ハ、ニハホ
 ナリ、ハハニナリ、ロハハナリ、イハロナリ、故ニイ
 ハホナリナトノ如シ、コハ、正格ニ直スコトヲ得
 へシ、譬へハ、イヨリ上、三ツノ極ヲ、取リダラハ、ロ
 ハハナリ、イハロナリ、故ニイハハナリナトノ如
 シ、カク極ノ多キニ因テ、演題ノ三ツトモ、四ツト
 モナスヘシ、四ツニハ、此連環體ト、前ノ雙契體ト
 相交レル者ヲ、二重體 [dilemma] ト云フ、其例シ左

致知學 卷三 三十三 附錄

致知啓蒙 卷二 七

ノ如シ

老約

イ。ハ。ロ。ナ。リ。ト。シ。又。ハ。ハ。ニ。ナ。リ。ト。セ。ハ。

少約

ホ。ハ。ヘ。ナ。リ。今。イ。モ。ロ。ナ。リ。又。ハ。モ。ニ。ナ。リ。

又老約

イ。ハ。ロ。ナ。リ。ト。セ。ハ。ハ。ニ。ナ。リ。ト。モ。又。

少約

ホ。ハ。ヘ。ナ。リ。ト。モ。ス。ヘ。シ。然。レ。氏。ハ。モ。ニ。ニ。非。ス。又。ホ。モ。ヘ。ニ。非。ル。

斷言

カ。レ。イ。ハ。ロ。ニ。非。ル。ナ。リ。

カ、ル體モ昔ヨリ致知學家ニテ種々ノ論ヲヒ
テ經テ心ヲ盡シテ委シク究ハメツル者アリケ
レト、徒ニ奇ラシキヲ好ムノミニテ、真トヲ顯ハ
ス便リニモナリ難キコト多シト云ヘリ、中ニモ、
此ニ重體ハ、詭論ニ陥ルコト多キソカシ、ソハ次
ニ見ヨ

第二十三章 真偽易混

此書ニテ前方ヨリ屢偽ハリ又偽題「fallacy」ト
云フ語ヲ用ヒツコハ、度量形質ナトノ見損ヒヨ
リ題ノ内ニ、隠ヒコミタル誤リナリコハ學ヒノ

致知啓蒙 卷二 辛四

未夕積ミヤラヌ際ハ有リ勝ナルコトナルヲ、今
 云ヘル詭論 [Sophism] テフハ、イト容レ難キ業
 ニテ、己カ過チヲ飾リ、非ヲ逐ケ人ヲ偽ハリニ陷
 シ入レナムト謀ルヨリ出ツルコトナリ、今ハ此
 詭論ノ例シトテ、カノ希臘ヨリ傳ハリタル名高
 キ話シテ、一ツニツ舉ナム、此詭論ニ種々ノ類ヒ
 アルカ中ニ二重題ノ詭論ソ、イト欺カレ易クシ
 テ、斷言ニツニテ、何レカ真トナリトモ、判チ難キ
 程ナリ、其一ツヲ、鰐魚ト老嫗ノ争ヒト云フ昔埃
 及ニテ、嫗ノ己多見連レテ、尼羅ノ河邊ニ至リケ

ルカ、其兒鰐魚ニ捕ラレテケレハ、嫗鰐魚ニ向ヒ
 テ、イト懇ロニ返シテ給ヘト、乞ヒケルニソ、鰐魚
 對ヘテ、吾此兒ヲ如何ニスラム、汝、真ニ言ヒ當ナ
 ハ、返シテムト云フ、嫗對ヘテ、ヨモヤ汝ハ其兒ヲ
 我ニ返ヘスマジト云フ、此時鰐云フヤウ、汝ノ言
 ヒシ所真トナラハ、我其真トニ背キテ、此兒ヲ返
 スヘカラスモシ、汝カ言ヒシ所、偽リナラハ、吾ハ
 真ナラハ、返ヘシテムトコソ、言ヒツレ、争カハ、此
 子ヲ返ヘスヘキトアリケルニク、嫗對ヘテ、吾真
 ニ言當タラハ、汝契リシ隨ニ、我ニ返ヘスヘシ、又

吾言ヒシコトノ當ラヌテハ、汝先我ニ其兒ヲ、
 返ヘシタル上ニテコソ有ヘケレ、サレハ、何レノ
 道ニモ、其兒ハ我ニ返ヘスヘシト、カクナム言ヒ
 争ヒケルハ、何レカ真ナルヘキ、又昔シ希臘ニ、埃
 華多拉斯ト云ヘル人アリ、普魯太格羅斯テフ、其
 頃ノ名高キ詭論家ニ就テ、狀師ノ道ヲ學ヒニケ
 ルカ、埃華多拉斯ハ、家富ニ財饒カナリケレハ、師
 ニ契リテ、學果テ、初メテノ訟ヘニ、勝チナハ、若干
 ノ謝銀ヲ、償ヒナムト、云ヘリ、サテ學ヒ果テ、月日
 ヲ歴ヌレト、埃華多拉斯訴ヘヲナサ、リケレ程

ニ、普魯太格羅斯堪カテテ、促カシケルニソ、遂ニ
 此事ニテ、訟トハナリケリ、サテ師ノ言フニハ、吾
 此訟ヘニ勝チナハ、汝公ケノ法ニ從カヒ、素ヨリ、
 吾ニ過金ヲ償フヘレ、モシ又、吾負ケナハ、汝我カ
 教ヘニ因テ、勝チタル故、吾ニ謝金ヲ、出スヘシト
 アリケルニ、弟子對ヘテ、吾勝チナハ、素ヨリ、過金
 ヲ償フヘキ理リナシ、又吾負ケナハ、争テ謝金ヲ
 出スヘキ、吾ハ勝チタリトモ、負ケタリトモ、金ハ
 償ナハジト争ヒケルトナム、コモ又何レカ真ト
 ナリヤ

第二十四章 模範諸種

致知學家ノ著ハセル諸本、年ニ踵キ、月ニ新々ニ
 シテ、其模範 (system) ノ立^テ方モ、從ヒテ異ナリ、或
 ハ前ノ互證ヲ、全ク同一不同一ノ條下ニ論ラヒ、
 之ヲ以テ辨決ノ運用トシ、或ハ正格ノ演題ト拘
 體ノ諸題トヲ、並ヘ列ラテ、辨決ノ體ニ、確定 [cases
 general] 約契 [hypothetical] 離撰 [disjunctive] 三
 ヲアリトスルナト、或ハ專ラ學トシテ、爰ノ第十
 三章ヨリ、前ツ方ヲ、詳カニシタルト、或ハ其後ヲ
 精^クシタルナト、種々ノ異^カリアリテ、舉ケ悉ス

ヘキニ非ス、又ナヘテノ規則モ、大方ハ、前ニ示シ
 ツル如シト雖^モ、其詳カナルコトハ、尚數十ノ卷
 ノ重^クストモ、盡スヘキニ非ス、中^ニハ、種々ノ圖ナ
 トニテ、サル考ヘノ、相係ハレル様ヲ、示セルナト
 モアリ、コハ皆其原ツ書ニ、譲リテ、爰ニハ漏シツ、
 又前ニモ、云ヒツル如ク、四圖ヲ取^テ、取ラサルト、
 其說區々ニテ、多クハ第一圖ニノ^ニ限レリ [Sketch,
 table, Emmanuel Kant, his William Hamilton]

[余]モ精^クシクハ、究ノ得^テ子ト、多キニ從^テフヲ、善^ク
 ノリト欲^スフナリ、サレハ、此四圖ノ官能ヲ、手短カ

ニ説キテ、其用例ヲ舉ケナム、サテ、此四圖ノ用法
 モ精シキ論ラヒアルカ中ニ、第一圖ハ、學術上ニ
 本ツキタル考ヘテ、辭ニ措クニ、殊ニ能適ヒタル
 式ニテ、殊別ノ一體ヲ取テ、萬ツニ貫通スル一理
 [Principale]ノ内ニ、包摂セシムル者ナリ故ニ
 名ケテ、包摂 [Subsumption]ノ圖ト云フ、譬ヘハ、得
 ヘカラサルノ道ニ從フハ、惑ヒナリ、好惡ニ因テ
 生死ヲ欲スルハ、得ヘカラサルノ道ニ從フナリ
 カレ、好惡ニ因テ生死ヲ欲スルハ、惑ヒナリト
 ノ如ク、惑フテフコト、多キカ中ニ、求ム氏得ヘカ

ラサルノ道ニ從テ、其然ラムヲ欲スルハ、惑ヒノ
 一ツナリ、而テ又求メ得難キ道ニ從フコトモ、數
 多アルカ中ニ、今愛スル時ハ、生キムヲ欲シ、惡ム
 時ハ、死ナムヲ欲スルハ、求ムヘカラサルコトノ、
 一ツナレハ、是亦惑ヒナリト、辨決レテ、惑ヒテフ
 老極ハ、求メ得ヘカラサル道ニ從フテフ中極ヲ
 包摂シ、求メ得ヘカラサル道テフ中極ハ、愛シテ
 生キムヲ欲シ、惡ミテ死ナムヲ欲スルテフ事實
 ヲ包摂シタリト見ル、是第一圖ノ用法ナリ、第二
 圖ハ、考ヘテ陳ルニ、落チ着カヌ所多シ、然レ氏、否

定ヲ宗ト立ル題ニハ、第一圖ニ劣フヌカアリ、尋常ノ據證ハ、此ニ出ルコト多シト云ヘリ之ヲ反證 *opposition* ノ圖ト云フ、譬ヘハ、達人ハ質直ニシテ、義ヲ好ム者ナリ、色ニ仁ヲ取ル者ハ、義ヲ好ム者ニ非ルナリ、カレ、色ニ仁ヲ取ル者ハ、達人ニ非ルナリナトノ如シ、第三圖ハ肯定ヲ比喻ノ式 *[emphatic fixation]* ト云ヒ、否定ヲ除類ノ式 *[exceptive]* ト云フ、類ヨリ除クヲ云フナリ、比喻トハ、譬ヘハ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ先、其器ヲ利スル者ナリ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ先、其器ヲ利スル者ナリ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ先、其器ヲ利スル者ナリ

「カレ工入ハ先、其器ヲ利スル者ナリ」ナトノ如ク、少約ニテ、其事ヲ善セムト欲シテ、器ヲ利スル者ノ一例ヲ示スナリ、今之ヲ不定轉換ニカケテ、第三圖ノ禮ヨリ、第一圖ノ秋ニ直ス時ハ極ノヤ、穩カナリト雖、其ニテハ、唯工入ノ事ヲ説ク者トナルナリ、又哈美拉頓氏ノ説ニ、此第三圖ハ、歸納即チ成類 *[contribution]* ノ圖ナリト云ヘリ、其式
 正。ヒ。モ。||。イ。エ。ヒ。モ。||。ロ。||。ロ。||。イ。ニ。テ。エ。ヒ。モ。ハ
 イノ内ニ、含マレテアリト見、サテ、エ。ヒ。モ。ハ。ロ。ノ
 一類ヲ、成ス者ナリト見テ、ロ。ハ。イ。ナリト、断スル

ニテ、譬へハ「忠信ヲ主トシ、義ニ徙ル者ハ、徳ヲ崇
 ウスル者ナリ」「忠信ヲ主トシ、義ニ徙ル者ハ、素ア
 リテ進ム者ナリ」「カレ、素アリテ進ム者ハ、徳ヲ崇
 ウスル者ナリ」「ナトノ如ク、忠信ヲ主トシ、義ニ徙
 ルテフ、ニツノ事實ノ如キハ、素アリテ進ムノ類
 ニテ、素アリテ進ム者ハ、総テ徳ヲ崇ウスル類ヲ
 成ス者ト見ルナリ、第四圖ハ、其用稀ナリ、之ヲ交
 互ノ式「reciprocity」ト云フ、譬へハ「賢ニ事へ、仁
 ヲ友トスル者ハ、先其器ヲ利スル者ナリ」「先其器
 ヲ利スル者ハ、其事ヲ善セムト欲スル者ナリ」「カ

レ、其事ヲ善セムト欲スル者ハ、賢ニ事へ、仁ヲ友
 トスル者ナリ」「ナトノ如シ、之ヲ交互ト云フハ、賢
 ニ事へ、仁ヲ友トスル者ハ、其事ヲ善セムト欲ス
 ル者ナリ」「其事ヲ善セムト欲スル者ハ、先其器ヲ
 利スル者ナリ」「カレ、先其器ヲ利スル者ハ、賢ニ事
 へ、仁ヲ友トスル者ナリ」「ニテモ同シキカ如シ、是
 ソ四圖ノ用法ナル

第二十五章 歸納開端

此書ノ第一章ニ、略云ヒレカ如ク、此書ハ唯舊キ
 致知學ノ命題ヨリ、演題ニ至ルマテノ法則ヲ、梗

概論ラヒテ、初學ヒ、措サケ搦シトナシツルマテニテ、
 新シキ致知學ノ歸納ノ法ハ、固ヨリ約翰士低亞
 多彌爾氏ノ致知軌範ニ、讓ラムト思ヒヌルニサ
 ハイヘ、猶一ト通り論ラヒテ、學者ニ、其緒ヲ示サ
 テハ、得モ己ムマシキコトアルナリ、ソハ、演繹deduction
 ナリ、是ヲモ前ノ第十章ニ、鉤引套挿ノ術ト、姑ク
 名ヲ命シテ、示シツルコトナルカ、爰ニテハ、致知
 學ノ全體ニ係ハリテ、廣ク致知ノ術ニ、二ツノ道
 アルコトヲ、明カスナリ、先令マテ舉ケタル演題ニ

テハ、其老約ニテ通理propositionヲ、掲ケ示ス者ニ
 テ、差主ヨリ、差客ニ涉リ、其通理ヲ、演繹シテ、斷言
 ニテ、特称ノ者ヲ、斷ハルナリ、譬ヘハ、似テ非ナル者
 者ハ、真ヲ害スル者ナリ、莠ハ、稻ニ似テ非ナル者
 ナリ、カレ莠ハ、真ヲ害スル者ナリト云フカ、如ク
 老約ハ、通理ヲ掲ケ示シタレハ、凡テ、似テ非ナル
 者ハ、真ヲ害スルコトヲ指シ、誰ニモ、能知レタル
 通理ニテ、獨リ莠ノ稻ニ似タルノミナラス、郷愿
 ノ君子ニ似タル諂諛ノ恭謙ニ似タル、頑固ノ剛
 毅ニ似タル、何ニテモ、似テ非ナル者ハ、此性ヲ具

ハサルナシ、是郷愿諂諛頑固等ノ字ヲ、少極トナ
 シテ、少シモ、通セサルコトナク、極メテ能、適ヒタ
 ルニテ、知ルヘシ、故ニ少約ハ必ス老約ノ理ヲ、演
 繹シテ之ヲ一物、若クハ一ツノ事實ニ、結ビツケ
 テ、示ス者ナルカ故ニ、之ヲ演繹ノ法トハ、云フナ
 リ、サレハ、此老約ノ通理モシ、真ヲ得サル時ハ、偽
 題ニ陥ルノ危キニ演スルハ、言ヲ待、スレテ、是演
 繹ノ法ノ、真理ヲ徹スルニ、足ラサル所ナリ、或説
 ニ、演題ヲ難シテ、老約ノ全称ヨリ、少約ノ特称ニ
 移レハ、特ハ既ニ全ノ内ニ、含ミタル物ナルカ故

ニ、断言ハ入ラヌコトナリ、譬ハ人ハ死スヘキ
 者ナリ、辨慶ハ人ナリ、カレ辨慶ハ死スヘキ者ナ
 リト言ハ、人ハト指ス内ニ、既ニ辨慶モ、籠リタ
 ル故ニ、断言ニテ、カレ辨慶ハト、再ヒ繰リ反スハ、
 益カキコトニテ、演題ハ何ノ値ヒモ無キ者ナリ
 ト云ヘリ、此難題、深ク致知學家ノ骨ニ徹リテ、ト
 ト痛キ難イナレト、サレハトテ、演題モ、難助ニ属
 シテ、捨テモヤラテ、種々ノ説ヲ、立ツル中ニ、彌爾
 氏ニ至リ、始メテ、之カ發明ヲナレテ、演題ハ、演繹
 ニハアラテ、正レク歸納ノ法ナリト云ヘリ、ソハ

歸納ノ法ハ、差客ヨリ差主ニ進ミ、特ヨリ全ニ、若
 クハ特ヨリ特ニ、推ス者ナルニ、老約ノ通理ハ、多
 少特別ノ經驗ヲ集メテ、合セ立テタル者ナレハ、譬
 ハ、前題ノ老約ハ、賴朝モ、義經モ、景時モ、其外古
 今ノ人モ、死ニキト、言フニ均シク、唯言語ノ術ニ
 テ、纏メテ人ト言ヒタル者ナレハ、本ハ亦、特ヨリ
 特ニ移ル者ナリト、此發明ニテ、或說ノ難題ヲモ
 解キ、且前人ハ演繹トノミ、心得タルヲ翻ヘシテ、
 演題モ再ヒ、其用ヲナスコトトハナリ又、サレハ、
 凡テ吾人ハ、智識ノ開ケユク道ハ、皆此歸納ノ法

ニ由ル者ニテ、是ソ必ス親シク視察[Observations]
 ノ經、經驗上[empirical]ニ本ツキ各自殊別ノ
 事實ヲ集合シテ、貫通セル一理ヲ得ヘキ切實無
 二ノ方法ナル、從來心理上[intellectual]ノ諸學
 ニ在テハ、諸家率子、カノ演繹ノ法ニ依テ事ヲ論
 スルモノカ、ラ紛拏喧騰、今日ニ至ルマテ、一定歸
 着ノ論鮮キヲ、カノ物理上[physical]ノ諸學家ニ
 テハ、舊クヨリ一意ニ歸納ノ法ニ從事セルヨリ
 今日ニ至リ、確乎不拔、彼カ如ク、其盛ナルヲ致セ
 リ、カレハ、學者亦爰ニ從事スヘキコト、言ヲ待タ

スレテ明カナルコトニテ、彌爾氏ノ致知軌範ニ、
 各個之事實若各個之現象者、一個若數個之理法
 以貫通之「Strong fact or phenomenon is governed
 by a law or laws」ト理ノ本體ヲ示シ、又同一
 因緣生同一應効「Like causes produce like
 facts」ト云テ探賾ノ單元ヲ立テ、而テ之ヲ試驗上
 講究ノ術「The four methods of Experimental
 inquiry」ニ曰ク一致「agreement」曰ク別異「dis-
 ference」曰ク剩遺「residues」曰ク伴結之差
 「concomitant variation」テフ四法ヲ開示セリ、學者

コレヲ本書ニ講究セヨ

致知啟蒙第二卷終大尾

書林

發兌

大坂 河内屋吉兵衛

唐物町四丁目

東京 瑞穂屋卯三郎

本町三丁目

至矣
君蒙

卷二

七

月

日

